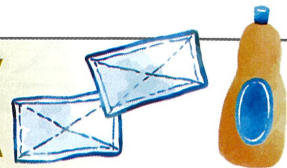




## 年末大掃除 ご協力御礼



去る令和5年12月9日(土)に千鳥福祉会家族会様との合同大掃除を開催したところ、多数のご家族のみなさまにご参加、ご協力を頂きました。当日はういんぐ建屋を中心に、普段、手が届かない所も大掃除をすることができ、利用者のみなさまにも気持ちの良い環境の下、新年を迎えて頂く準備ができた、と大変喜んだ次第です。ご参加頂きましたみなさま、誠にありがとうございました。

## ICT化促進の取り組み



福祉業界において、人手不足や煩雑な事務作業が事業運営の大きな課題となっています。

当法人でもこれらの課題解消のため、不要な時間や資源(特に紙)の浪費を減らす為にICT化に取り組んでいます。

環境面では、敷地内の通信を無線化し、情報共有アプリや人事管理ソフトを活用することで、どこからでも誰もが情報の受け渡しを円滑に行えるよう取り組んできました。また、膨大な書類作成においては、事業所間でのデータ共有を基盤とし、資料の回覧や決裁、保管が可能となるソフトウェアの導入によって、紙資料からの脱却に向けて進行中です。現段階では取組半ばですが、段階的にほとんどの紙資料をデジタル化することを目指しています。

この取り組みの目的は、無駄なコストを削減し、限られた人員で効率的なサービスを提供し、利用者様の生活を向上させる事にあります。その為に、今後も積極的にICT化を推進していく考えです。(事業推進部・神田)

## 中堅職員 内部研修報告



10月20日(金)、中堅職員向けの自己啓発と相互交流を目的とした内部研修を実施しました。当日は7事業所13名の職員が参加し、まず研修動画を視聴。その後、班を分け、中堅職員の役割について、「新人職員育成」や「上司の補佐としての役割」、「職員間のコミュニケーションの核となるには」等の中からテーマを決めて意見交換。それぞれの苦労や想いを話し合い、にぎやかな会となりました。

実施後のアンケートでは以下のような感想が聞かれました。

- ・4~5人のグループで雰囲気良く、話しやすかった
- ・各々の固定観念があったが、緩和出来た
- ・中堅職員に対しての期待や思いを考える機会となった
- ・実施方式については、ペーパー配布ではなく、積極的にデジタルを取り入れるべき

仕事の工夫や改善方法の考察、上司・先輩の尊敬するところ、普段の勤務での苦労や悩み、新人育成や法人の今後を担う立場として…等々。参加職員の真剣さや前向きな想いが言葉となって話が尽きず、時間が足りないと感じるほどの、良い研修になったと感じます。

今後も実施方法やスタイルを工夫しながら、毎年の開催を目指して行きたいと考えています。(ひまわり・中林)



## 苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (令和5年8月~令和5年11月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。

今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気兼ねなく、お申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員  
京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239  
武子 愛 氏 (島根大学人間科学部 講師) TEL0852-32-9053  
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913

## 利用者のみなさんの「声」受け付け報告 (令和5年8月~令和5年11月)

当法人では、利用者のみなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者のみなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。

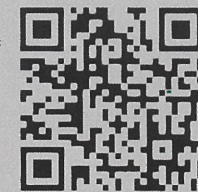
各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じたいと思います。

	利用者のみなさまより	ご家族のみなさまより (世話人含む)
持田寮	40	1
ういんぐ	37	20
フレンド	37	0
ばすてる	8	0
ばすてるびいす	11	0
共同生活	28	0
大空	20	0

「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



「Facebook」  
法人のFacebookページを情報発信委員会にて運営しております。  
<<https://www.facebook.com/ohidorifukushikai1415/>>  
事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願ひします!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



「マチコミ」にご登録の皆様へ  
職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。  
アプリのダウンロードはこちらから。  
<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索。>  
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。

千鳥福祉会ホームページ  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)

# Leaving Care News

2024.1.20 No.147



〒690-0814 松江市東持田町1415  
社会福祉法人 千鳥福祉会  
TEL 0852-24-8821(代)FAX 0852-24-8825  
障がい者支援施設 持田寮  
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ  
ワーカーセンターフレンド  
共同生活援助事業所つばきの里  
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空  
相談支援事業所 ひまわり  
放課後等デイサービスばすてるびいす  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)

この度の、令和6年能登半島地震により被災されたすべての方々に心からお見舞い申し上げます。



持田寮  
クリスマス会に  
ばすてる児童も参加。  
とってもにぎやかな  
時間でした♪

## 新年のごあいさつ

千鳥福祉会 理事長 江指裕嗣

新年あけましておめでとうございます。謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。

新年の初詣、私は毎年、出雲大社への参拝を恒例としています。その出雲大社がロケ地の一つとなったのが、昨年、大きな話題となったドラマ「VIVANT」。私も久方ぶりにドラマに熱狂し、毎週、家族とともに視聴しました。

壮大な砂漠シーンから物語が始まり、「天照大御神、イエスキリスト、アブラハムアラーム…誰でもいいから助けてくれ。」と、堺雅人扮する主人公のセリフ。一気に引き込まれました。

今回のVIVANT、放送後のネットでの考察合戦も話題となりましたが、物語の中には「日本人の多様性を受け入れる民族性」と言うテーマも含まれていたようです。先の第一話では、主人公が異国の宗教の祭壇の前で、その宗教式にひれ伏すシーンがあり、その国の人は「何故、この国の人間ではないのに、この神に挨拶をするのか?」と不思議がるシーンもありました。宗教で考えると特に年末年始はクリスマス、除夜の鐘、神仏への初詣、と多様性を感じます。古来、日本人は自然への畏敬や感謝の念から万物に神が宿ると考え、八百万の神々を信仰してきました。故に異国の神も受け入れて来られたのかもと思えますし、今回のドラマのテーマから考えると八百万の神々の神慮りが行われる出雲が舞台になるのも、必然と感じます。

さて、昨今、話題となる多様性を認め合う社会については、共生社会の実現と意をほぼ同じくするのはないでしょうか。ひと昔前であれば、共生社会は福祉分野に限った話題かと思われた時もありましたが、今や社会的な課題の一つです。様々な個性を持つ人たちのことを尊重し、あらゆる人が自分らしく、幸せを感じながら暮らしていける社会の実現については神々もその成り行きを見守っていらっしゃることでしょう。当法人も微力ながら、その取り組みの一助となるよう、本年も事業に取り組んで行けたらと考えます。

ドラマタイトルのVIVANTはフランス語で「生きている」の他に「活気のある」「賑やかな」という意味があるとの事。ぜひ、皆様にとってもVIVANTな一年になりますよう、お祈り申し上げます。

### 編集/情報発信委員会

- ・江指 裕嗣
- ・吉松 裕介
- ・山崎 耕平
- ・高本 舞祈
- ・三原 恵美
- ・片寄みなみ
- ・日野 裕美
- ・植尾 佳代



# 放デイ、親子行事再開!

11月4日(土)、ぱすてる・ぱすてるびいすでは親子活動として、月山富田城跡登山をしました。

天気が心配され、当初は中腹までを目指す予定でしたが子ども達の足はドンドン進み、予定を変更し皆で挑んだ頂上。そこからの眺めは、登れたからこそ味わえる達成感そのものでした。「楽しかった!」「これを機に子どもと登山してみようかな」等、たくさんの嬉しい感想も聞くことができました。

ここ数年、親子活動は開催できていなかったのですが、今回久しぶりに開催し、保護者の方と親睦を深めることができ、何と言っても児童さんのたくさんの笑顔を見ることができた事に喜びを感じました。これからも、親子で楽しめる活動、保護者同士が交流できる会など、計画していきたいと思ひます。  
(ぱすてる/ぱすてるびいす・小山)



# 大盛況!クリスマス会2023

持田寮では12月22日(金)にクリスマス会をしました。皆さんとても楽しみにされていて、「今日はサンタに逢えるね!」とほりきっている利用者さんもおられました。途中から、ぱすてるとぱすてるびいすの利用者さんも参加され、大人数での賑やかな会になりました。「大きなかぶ」の寸劇では、持田寮とぱすてるの利用者さん達が次々に参加して、みんなで協力して楽しそうに引っ張っておられました。最後にかぶがぬけると大きな拍手が起き、大変盛り上がりました。終わってから感想を聞いてみると、「サンタに逢えたよ」「ケーキ美味しかった」「来年が楽しみ」といった言葉を頂けました。今後も、利用者さんが笑顔になれる楽しい企画を沢山考えたいと思ひます。  
(持田寮・吉松)



お正月はあけましておめでとう。

祝・成人

祝・還暦



還暦  
仲田誠次  
様

ほか還暦2名、  
成人1名。  
おめでとう  
ございます。

# グループホームのお正月・2024

共同生活援助事業所では年末年始、ホームに残られる利用者様を対象に日中支援を行いました。ボウリングのセットを借りたり、「黒ひげ危機一髪」などのゲームをしたりと、みんなで集まって遊ぶ時間を設けました。また元旦には、千酌の爾佐(にさ)神社に初詣。他にもお抹茶やお菓子を堪能したり、絵馬づくりをしたり。ゆったり楽しく、お正月らしい気分を感じて頂けたのではないのでしょうか。  
(つばきの里・片寄)



# 4年ぶり!ういんぐ・秋の旅行!

昨年度から少しずつコロナ禍前の活動を復活させており、今年度は利用者さんにとっても大イベントとなっていた「ういんぐ旅行」を復活しました。

自治会で募った希望から、日帰り旅行は「秋はやっぱりとっとり花回廊」、一泊旅行は皆生温泉・寿製菓工場見学・大山・花回廊を回る「がいに満足できちゃうツアー」、琴平グランドホテルに宿をとり讃岐うどんを堪能し、レオマワールド・水族館を楽しむ「レオマワールド、四国水族館に行くよ」、という3つのコースで実施しました。

コロナ禍以降にういんぐを利用され始めた方や、自分を含め新しい職員にとっては、ドキドキもついている初めての体験でしたが、旅行中は皆さん笑顔に溢れ話も弾み、たくさんの楽しい思い出が増えました。

また旅行前には、それを励みにいろいろなことを頑張ることができた方、旅行後その思い出を胸に頑張っている方、早くも来年の企画を期待し毎日を楽しんで過ごしておられる方もいらっしゃいます。

旅行は誰にとっても非日常の出来事です。

利用者さんには変化に富んだ楽しいひと時を過ごして頂けたほか、職員においても計画から実施までを通して、事業計画にも掲げている「職員力・チーム力アップ」をより一層図る事ができたと思ひます。非日常の出来事だからこそ、旅行が多くの効果をもたらしてくれました。

来年度も、誰にとっても良い効果を生むような企画をしたいと思ひます。

今回の旅行にご協力頂いた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(L.C.C.ういんぐ・福島)



# みんなで 広島日帰り旅行!

12月にケアセンター大空の利用者様7名、ヘルパー6名で、広島に日帰りで行って来ました。早朝に集合し、高速バスで移動。美味しいものが食べたい、お土産をいっぱい買いたい、珍しい所へ行きたい…。それぞれ思いは違いますが、到着後は利用者様のご希望に合わせての個別支援。自分だけの楽しいひと時を過ごして頂けたのではないと思ひます。今年も一年、利用者様の願いに応える事業所として、精一杯支援してまいりますので、よろしくお願い致します。  
(ケアセンター大空・三原)



# フレンド、クリーニングの今

新型コロナウイルスがら類となり旅行客が増えた関係で、フレンドのクリーニング業務も仕事量が増えてきました。昨年の夏から新たな取引も始まり、大変忙しい日々を送っています。利用者の皆さんも頑張っておられ、期末にはボーナスとして還元できるかも…と、利用者さんだけでなくお支払いする私たち事業所側も、期待に胸を膨らませています。

懸命に働いた先に喜ぶ顔が見られる、そんな良いサイクルが続くよう、今後も皆で力を合わせて頑張ります!  
(ワークセンターフレンド・高本)

